

いべんと西河原・中央公民館のつどい合同開催

対 象：公民館利用団体及び市民
 実施回数：1回（5日間）
 参加人数：約 5,337 人

■内容：

＜開催日時＞

2/24（土）～3/3（日）

※午前 10 時～午後 9 時

＜実行委員会日時＞

11/14（火）・12/27（水）・2/9（金）・3/15（金）

※午後 6 時 30 分から

■出演団体：66 団体（うち実行委員会役員企画は 30 団体）

■担当者より：

「中央公民館のつどい」は、中央公民館利用団体を主とした団体・個人で実行委員会を組織し、一年間の活動の成果を展示やコンサートで発表することで公民館利用者同士や市民との交流を進め、市民の文化活動の拠点となる公民館を活性化するイベントとして開催。「いべんと西河原」は、昨年度と同様に西河原公民館の多目的ホールで、カラオケやダンス等の様々なジャンルで、日頃の練習を発表する場として開催した。

特に「中央公民館のつどい」においては、実行委員会では訪れる人が非常に少なかった前年度の反省から、参加者を増やそうと利用団体は参加型の展示を基本とし、中央公民館で発表したい団体はホールではなく 2 階ロビーでコンサートを行うことにした。団体で希望が出なかった枠には実行委員会役員が多数の企画を考えた。キッチンカーや楽市出店団体の招へい、福祉作業所の自主製品の販売、また元旦に起きた能登半島地震支援のためのチャリティバザー、安心安全課による携帯トイレの使い方講座、珈琲講座、遊びのフリースペース、LINE 講座、プログラミング講座など、多様な方々を想定した企画を用意した。周知不足の反省を活かし、チラシは業者に依頼したカラーのものにし、学校へ配布を実行委員が行った。

実行委員は様々な場面で周知はまだまだ不十分だったと感じているようであったが、努力のかけがあり、昨年よりは概ねどの団体もお客様が増えたと喜んでた。なお、キッチンカー（7 団体）の招へい、楽市クラフトの会と福祉作業所の自主製品の販売は初めての試みであり、お客様にも大好評だった。（泉）

